

(5)自動車専用道路へのアクセスの向上

○指標の実績と目標

指標 7：ICへの20分到達圏域

■実績値と目標値

<H15年度現況値>	<H16年度目標値>		<H16年度実績値>	<H17年度目標値>	<概ね10年後>
60%	60%	→	60%	60%	7割に向上

現状維持

○平成16年度においては、ICへの20分圏を拡大させる道路の開通がなかったことから、現状維持となりました。平成17年度目標値の設定についても、20分圏域を拡大させる道路の開通が見込めないことから現状維持となっています。

●ICへの20分到達圏域

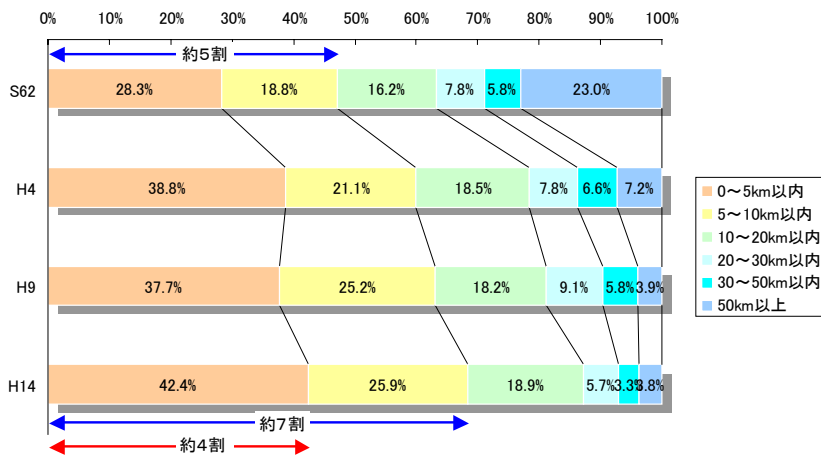
ICへの20分到達圏域＝最寄りICまで20分で到達できる面積／神奈川県全県面積×100

○現状と課題

●企業による自動車専用道路のニーズの高さ

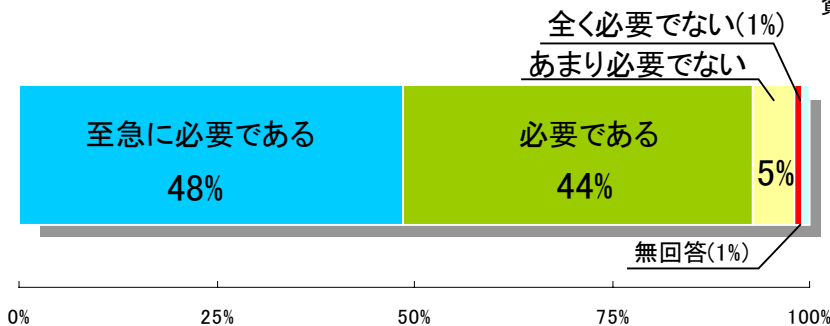
全国の新規工場は、インターチェンジから5km以内に立地する割合が約4割を占めています。また、インターチェンジから10km内に位置する割合では、昭和62年から平成14年までの15年間で約5割から約7割に増加しており、インターチェンジ近くに立地する傾向が強いことが伺えます。

県内では、広域ネットワークを形成する自動車専用道路の整備が必要であると考えている事業所が約9割を占めています。



新規立地工場のインターチェンジからの距離帯別の割合

資料：工場立地動向調査（経済産業省）



広域ネットワークを形成する自動車専用道路の整備について

資料：神奈川県内の民間事業所アンケート

（神奈川県内経済団体等・圏央道神奈川地区連絡会、平成14年）

交通渋滞の解消

交通事故の削減

震災に対する安全性の向上

歩行時の安全性と快適性の向上

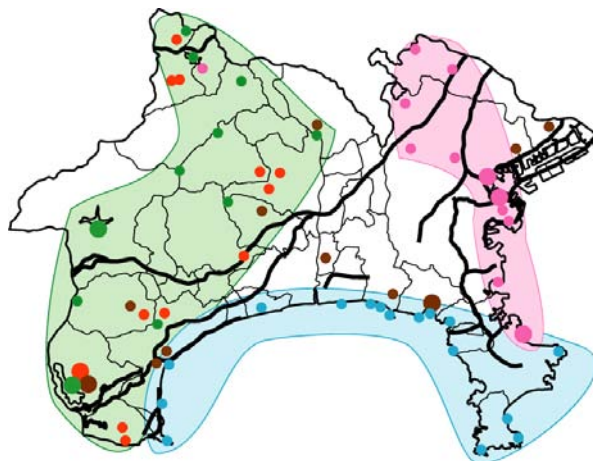
自動車専用道路へのアクセスの向上

沿道環境の改善

●県内全域に広がる観光地

神奈川県は、京浜地域の都市型レクリエーション、湘南・三浦半島地域の海洋性レクリエーション及び箱根・丹沢地域の山地系レクリエーション等の豊富な観光資源に恵まれています。これらの観光資源は県内各地に広がって存在しており、アクセスの不便な場所も多く存在します。

凡 例	
● 観光地区	● 山地系観光資源
● 観光スポット	● 海洋性観光資源
	● 神社・仏閣・史跡等
	● 温泉
	● 公園・レジャー施設
○ 都市型レクリエーションを中心とするエリア	
○ 海洋性レクリエーションを中心とするエリア	
○ 山地系レクリエーションを中心とするエリア	



神奈川県内の観光地区・観光スポット

資料：神奈川観光ガイド

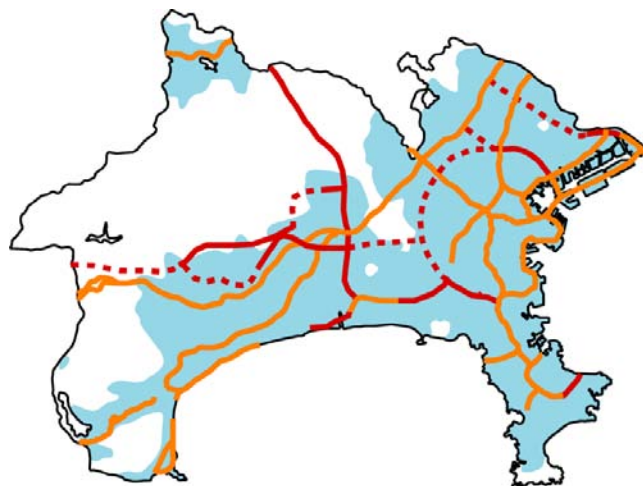
□課題

首都圏の社会・経済において重要な位置を占め、自然、歴史など多くの観光資源を擁する神奈川県において、企業立地の促進や、県外からの観光客の誘致を図るなどの観点からも、自動車専用道路ネットワークの充実とともに、**インターチェンジへのアクセス向上が課題**となっています。

○課題の要因

自動車専用道路のインターチェンジ周辺には、その利便性の高さから多くの工場・物流施設等が立地し、産業ポテンシャルの向上をもたらします。また、自然、歴史など多くの観光資源を擁する神奈川県において、観光地へのアクセスを確保することは、観光産業の発展をもたらすと期待されます。しかしながら、神奈川県にはインターチェンジへのアクセスが十分でない地域が残されており、**工場立地の促進や観光資源などの有効活用に向けた、自動車専用道路ネットワークの充実及びインターチェンジへのアクセス向上**が求められています。

○自動車専用道路ICへのアクセス性の低さ



ICから20分で到達できる地域

凡 例	
○	I.Cから20分圏(現状)
■	計 画
■	事業中
■	自動車専用道路等

交通渋滞の解消

交通事故の削減

震災に対する
安全性の向上

歩行時の安全性と
快適性の向上

自動車専用道路への
アクセスの向上

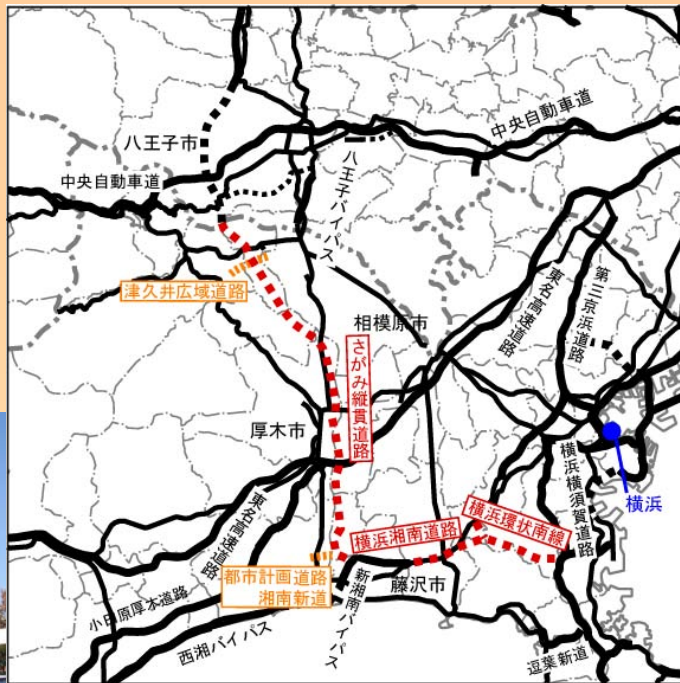
沿道環境の改善

○目標達成に向けた取り組み

【首都圏中央連絡自動車道】

神奈川県内では、圏央道として、高速横浜環状南線、横浜湘南道路、さがみ縦貫道路が位置づけられています。中でも、さがみ縦貫道路（茅ヶ崎市（新湘南バイパスと連絡）～城山町（東京都県境））は、ICが6箇所設置されることから、ICへの20分到達圏の増大により、工場立地条件が有利になる他、観光地へのアクセスが向上します。

＜東名高速道路に連結する海老名北JCT＞



交通渋滞の解消

交通事故の削減

震災に対する
安全性の向上

【インターチェンジへの接続道路 津久井広域道路】

＜新小倉橋付近＞

津久井広域道路は、相模原市と津久井地域の連絡を強化する新たな幹線道路であり、さがみ縦貫道路の城山IC（仮称）へのアクセスが向上します。



歩行時の安全性と
快適性の向上

【インターチェンジへの接続道路 都市計画道路湘南新道】

＜暫定2車線供用の状況＞

都市計画道路湘南新道は、湘南地域の東西方向の連絡を強化する新たな幹線道路であり、さがみ縦貫道路の寒川南IC（仮称）へのアクセスが向上します。



自動車専用道路への
アクセスの向上

沿道環境の改善